

「折尾駅前広場」の歴史遺産

『折尾駅舎』

- ・ 都道府県レベルの有形文化財級の価値（土木学会）
- ・ 大正5年に建築された約100年になる木造2階建。
- ・ 九州の木造2階建て駅舎は2つのみ（門司港駅・折尾駅）
- ・ 折尾駅舎の形は、中間側が1階建て、鹿児島本線に隣接する側が2階建てになっており、このアンバランスな形こそが「立体交差駅」であることを証明する、日本唯一の駅舎。
- ・ 日本最古の立体交差・待合室の丸椅子・高架下の赤煉瓦の連絡通路トンネル、古軌条のホーム支柱、御影石の階段、筑豊本線の御影石のホーム、鹿児島本線の赤煉瓦のホームなどが残る。
- ・ 訪れるべき価値のある駅で、全国第7位に選ばれた(日本経済新聞)。

『堀川運河』

- ・ 近代化産業遺産（経済産業省）
- ・ 189年の歳月をかけて掘られた『運河』である。
- ・ （運河とは、自然に流れる河川と違い、人工的に造られた河川のこと）
- ・ 駅前に流れる運河は、日本唯一。
- ・ 岩を砕き掘られた、車返の切貫きのノミ跡は250年前の姿を現在に残す。
- ・ 筑豊の上質な石炭を運べることで、八幡製鐵所が八幡に建設された。
- ・ 24時間操業して鉄を製造し、日本の発展に寄与した。

『西鉄電車・赤煉瓦アーチ高架橋』

- ・ 都道府県レベルの有形文化財級の価値（土木学会）
- ・ アーチ部分がねじれた構造のトンネル「ねじりまんぼ」は、日本最大級。
- ・ 「ねじりまんぼ」と普通のトンネルと一緒に存在するのは、日本唯一。
- ・ 大正期の長大な赤煉瓦高架橋は、同じ年に建造された「新橋と東京」間のみ。全体で9連（3連+6連）あった。
- ・ 「北九州線」と呼ばれ、この沿線を中心に5市合併して北九州市が誕生した。

これらの歴史遺産は、『日本の宝』です！



「折尾レトロ」を創り、折尾の歴史や文化を伝承しよう！！